



矢中だより

第24号

令和8年10月8日
由利本荘市立矢島中学校

前期を振り返る～前期終業式～

本日無事に前期終業式を迎え、前期の教育活動が終了いたしました。運動会や矢中祭などの行事や日々の学習において、生徒達が学年の垣根を超え、まとまりながら目標に向かってやり遂げる頼もしい姿が見られた半年間でした。

終業式では生徒たちに、「この4日間の休みで自身の努力を認め、支えてくれた方々への感謝を振り返る大切な節目にしてほしい」と伝えました。

本日、前期の足跡として通知票を渡しております。ご覧になるとときには、結果だけでなく努力の過程にも目を向けてご家庭で褒めていただけますと幸いです。また、後期の努力目標などを話し合っていただければ、後期への意欲につながります。4日間でリフレッシュし、10月13日（火）の始業式に全員が元気に登校できることを楽しみにしています。

保護者・地域の皆様の前期のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。



笑顔満開～矢中祭大成功～

10月3日（土）、矢島中学校体育館にて矢中祭を開催いたしました。「笑門来福～笑え73人の矢中生～」のテーマのもと、前日のプレ開祭式から当日の教科展示、発表、そして全校合唱、閉祭式に至るまで、生徒たちが笑顔で主体的に取り組む姿が見られました。特に各学年の「総合的な学習の時間」の発表では、一人ひとりが自分の役割をしっかりとやり遂げ、素晴らしい発表となりました。お忙しい中、ご来場いただきました保護者ならびに地域の皆様に、心より感謝申し上げます。



開祭式



英語暗唱・弁論発表



総合的な学習の時間発表



有志発表



全校合唱



全校記念撮影

※矢中祭の写真はこのほかHPにも掲載しております

前期の振り返りと後期の目標

1年 ** **

僕が前期に頑張ったことは、2つあります。

1つ目は家庭学習への取り組みです。家庭学習では、その日の授業で学んだことを整理して理解を深めるインプットと、たくさん問題を解くアウトプットのバランスを意識して出来たと思います。また、問題を解いた後に、自分の弱点を集中的に練習して解けるまでやって根気強く頑張りました。

2つ目は部活動です。部活動での練習では、試合の場面を想定して、自分が何をすべきかを考えて練習しました。また、部活動の時間での練習に加えて、自主練を短い時間でも毎日やって、野球の正しい形を身に付けるために素振りなどの基礎練習を徹底しました。試合で活躍出来るように努力を積み重ねました。

僕が後期に頑張りたいことは、生徒会活動と部活動です。中学校生活にも慣れてきて、生徒会活動などに積極的に参加したいと思います。なぜかという学級みんなを引っ張っていく事は簡単ではないですが、その分やりがいを感じられると思ったからです。自分にできることを進んでいき、率先して学校のために尽力したいと思います。

また、部活動にもより力を入れて頑張っていきたいです。これからチームの主力として試合に出る中で、良い結果が常に出せるように自主練習の時間を延ばして理想の形が身に付くようにしたいです。後期はこれらのことを頑張りと、文武両道を目指して更に自分の力を高めていきたいです。

前期での気付き

2年 ** **

私は前期の学校生活を振り返って、成果や課題となる点があることに気づきました。

1つ目は学習についてです。前期ではどの教科でも集中して授業に取り組み、自分の考えをもつことができました。特に、私が一番苦手な教科である英語では、一つ一つの単語の意味やスペルを復習し、何度も練習したり、わからないところは最初に教科書や辞書を使い自分で調べ、それでもわからないところは友達に聞いたりして少しずつ覚えることができました。そうすると、前に問題を解いた時よりもスムーズに単語を書くことができるようになりました。しかし、その過程で新たに「文法」という課題が出てきました。単語がわかっている、文法を理解していなければテストで成績を上げることは難しいです。後期では、単語だけでなく文法も覚え、更に英語への理解を深めていきたいです。

2つ目は部活動についてです。私は吹奏楽部に所属していますが、今年度は新1年生が入ってきて、先輩として部を引っ張っていかなくてはならなくなりました。また、中学校だけでなく、高校にも1年生が入ってきたので、人数が多くにぎやかになった分、みんなをまとめあげる力が必要になりました。最初はお互いにどこかぎこちない距離感でしたが、リズムを教えあったり、合奏を一緒にしたりする中で、高校生・中学生という年齢や学校の垣根を越えて交流することができるようになり、部活内の空気がよくなりました。空気がよくなったことで、ぎこちなかった時よりも集中でき、一日一日の練習に部員全員がひたむきに向き合うことができました。だからこそ、バンドフェスタや矢中祭での演奏もミスなく成功できたのだと私は思っています。後期でもこの関係を維持し、次は矢高祭と定期演奏会に向けて励んでいきたいです。

2年生は中だるみしやすい学年だと言われています。それと同時に、3年生が引退して部活動が新体制になったり、勉強が本格的に難しくなったりします。しかし、ここをしっかりと乗り越えれば勉強でも部活動でも自立した3年生になれると思います。そのために、後期では前期の成果と新たな課題を生かし、もう一段階ステップアップできるように努力していきたいです。

前期に頑張ったことと後期の目標

3年 ** **

私が前期に頑張ったことは勉強です。私は1、2年生の時はテストであまり点数をとれず、特に英語が苦手でした。問題を解いてもわからないことが多く、テストでも思うように点数がとれないこともありました。だから、3年生の前期は苦手な教科をそのままにしないように少しずつでも勉強することを意識しました。テスト前には、分からなかった問題をもう一度解き直したり、覚えられていないところを繰り返してみたりして、分からないところがあったらそのままにしないようにしました。毎日の課題として指定されているページ数に関わらず、自分の力を高めるために、納得できるまで取り組むようにしています。分からないところもすぐに全部できるようになったわけではありませんが、自分の中で「やってみよう」という気持ちが芽生えたことが自分の中で変わったことだと思います。テストでも少しずつですが点数が上がってきていて、頑張った分だけ結果につながっていることを実感しています。

これからは高校受験に向けて、今までよりももっと勉強を頑張って点数を少しずつ上げていきたいです。苦手な教科は基本的なところからもう一度復習して、少しでも解ける問題を増やしていきたいです。また、苦手な教科だけでなく得意な教科も、もっと伸ばしていきたいです。

後期は毎日の勉強を大切にだけでなく質の高い勉強をしていきたいです。そして受験のときに「もっと勉強しておけばよかった」と後悔しないように今できることを毎日少しずつ積み重ねていきたいです。